

第3回大野市屋内型子どもの遊び場整備事業基本計画策定委員会 議事メモ

日時：令和5年3月10日(金) 10時～12時

場所：結とびあ 201、202

【出席者】

- ・全委員（10名）
- ・事務局（政策推進課 2名）
- ・京福コンサルタント株式会社福井支店（3名）

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

- (1) コンセプトと基本方針について
- (2) ゾーニング・配置
- (3) 付属スペースと必要な機能
- (4) 導入する遊具の検討
- (5) バリアフリー・安全管理対策
- (6) 駐車場等について
- (7) 管理運営に係る基本方針

○ゾーニング・配置について

委員：ステージはそのまま段差のある状態で残るのか。

事務局：コスト縮減案は、現状のステージを生かす案となっている。

委員：コスト縮減案だと大野城を眺望できるスペースがなくなることになるのか。

事務局：そういうことになる。

委員長：当初案とコスト縮減案ではコストが大きく変わってくるのか。

事務局：想定ではあるが大きく変わることになる。この場でどの案に決めるかではない。各案の良いところ悪いところがあると思うので、皆様からご意見を頂ければと思っている。

委員：コスト縮減案だと体育館に遊具を設置するだけになってしまう。当初案は全体を改修するため魅力的であるが、コスト縮減案では寂しい感じがする。既存にあるものを活用することは良いことではあるが、コスト縮減案で進むのであれば他の所で魅力を出せたらよいと感じた。

委員：コスト縮減案は寂しい気はするが、既存のステージを活かした遊具などを考えて頂ければ魅力的な遊具ができるのではないかと思う。

委員長：当初案は確かに理想ではある。

委員：当初案とコスト縮減案を比較してみると、初めに素晴らしい理想の計画を見ていただけに理想と現実のギャップを感じる。コストの事を考えると判断するのが難しい。

委員長：コスト縮減案になったとしても工夫できる場所はたくさんある。

委員：個人的には遊具に費用をかけることが出来なくなることは本末転倒であると考え、コスト削減案で進めることには賛成である。コスト削減案でも当初案と同様に大野城が眺望できるようにしてほしい。タワー遊具の上部を子どもだけではなく大人も利用できる展望台にしてはどうか。

委員長：体育館の側面には窓があるのか。

事務局：キャットウォーク沿いの南北の壁にはガラス窓があり、北側からは大野城を眺望することができる。

委員：ステージ横にある放送室には西側と北側に小さい窓が設置されている。その部屋を活用して大野城を眺める展望台にすることも考えられる。大野らしさという点では、大野城が見えることがポイントの一つだと考える。

委員：体育館の窓を大きくすることは可能か。

事務局：体育館南側と北側の窓は比較的大きな窓であるため、現状の窓でも十分に大野城を眺望することは可能である。

委員：大野城が眺望できる撮影スポットは必要である。コスト削減案の遊具スペースのゾーン区分で、乳幼児と幼児用のエリアが児童エリアを挟んで分断されているため動線的に危険である。コスト削減案のトイレ前の目隠し壁は必要ではあるが死角になってしまう。トイレから出てくる子どもと、トイレに急いで入ろうとする子どもが交錯する可能性があるため、間取りの方で工夫した方がよい。

委員長：トイレへの動線として現在の更衣室の動線はどうなっているのか。

事務局：現在の更衣室の出入口は体育館側にある。コスト削減案は、構造壁を改修しない方向で提案しているため現在の更衣室の出入口を活用する案としている。

委員長：ワークショップルームや多目的ルームを活用していく事を考えると体育館側にトイレの出入口があるのは不便である。当初案とコスト削減案の折衷案がよいのではないか。

事務局：コスト削減案は今回はじめて提示したため、本日皆さんお意見をお聞きして更に修正を加えていきたいと考えている。

委員長：2階をつくることはコストも掛かることだと思うので仕方はないが、トイレの出入口については両側から出入りできるように考えてみてほしい。

事務局：例えば、コスト削減案のトイレと、通路を挟んで東側に配置している多目的トイレ、授乳室を左右反転にすることも考えられる。コスト面も含めて再検討を行う。

○附属スペースと必要な機能について

委員：子ども達が遊びの最中にケガや体調不良を起こした際は、やすらぎルームで手当てや処置を行うのか。また AED の設置場所については検討しているのか。

事務局：事務室の一角に簡易ベッドを1台設置できる救護スペースを計画している。AED の具体的な設置場所については現段階では決まっていない。

委員：救護室の場所が子ども達でも認識できるようにサインを設置して頂きたい。

委員：ロビーには子育て支援などの情報を提供すると書いてあるが、デジタル的な設備を導入するという解釈でよいか。

事務局：原始的なものではホワイトボードがあるが、デジタルサイネージ等の情報ディスプレイの導入等も今後考えていきたい。本日、委員の皆様にご覧いただき、詳細な図面をお渡ししていないの

は、基本計画段階では詳細な図面までは求めてはいない。検討段階の図面を皆様にお渡しする事で計画案が一人歩きしてしまうことを避けるためである。よって、本日はスクリーン上で詳細な図面を見て頂くに留めていることを理解して頂きたい。本日もご意見いただいたサイネージ等の備品の導入については、今後の詳細設計で詰めていく予定である。

委員：多目的トイレの面積が5㎡となっているが、大型のベッドを入れるのであれば狭い気もする。完成した時に狭く感じないように余裕をもって整備してほしい。

委員：1階の休憩スペースがガラス張りとなっているが、フリースペースで全体を見渡せるため飲食スペースのみガラス張りでよいのではないかな。

委員：乳幼児を休憩室で休ませるのであれば、オープンな空間よりも壁のある落ち着いた空間の方がよいのかもしれない。

委員：乳幼児と幼児、児童を連れた親としては、赤ちゃんと休憩しながら子ども達を見守ることを考えるとガラス張りの方がいいのかもしれない。

委員長：見守りスペースがオープンなスペースになっているので休憩スペースは全面ガラス張りでなくてもよいのかもしれない。

委員：コスト縮減案ではキャットウォークが使いなくなっているが、維持管理用の通路だけではなく、子どもがすれ違いできる程度の通路幅を確保して活用できた方がよいのではないかな。現在は管理用のハシゴであるが、安全に登れるような階段を設置することで、上からも子ども達を見守れるスペースが確保できベンチを置けば休憩スペースにもなる。将来的に室内で、大野マルシェ等の地元企業が出展するようなイベントをなども考慮した使い勝手の良い動線、設備を検討して頂きたい。

委員：体育館の南北の窓は改修工事の対象にはならないのか。外観の雰囲気を見ると今回の改修で更新した方がキレイになってよい。

事務局：今回の工事で窓も改修することは可能である。

委員：コスト縮減案では現在のステージがある部分に2階はなくなるのか。

事務局：当初案は、ステージを改修し1階に休憩スペースを設置し、2階フロアを作って2階休憩スペースを作る案となっているが、コスト縮減案では既存のステージを活用するため、2階の休憩スペースはなくなる。

委員：私の施設のトイレもかなり広いが、大型のベッドを入れると狭く感じるかもしれないので余裕のあるスペースを確保してほしい。やすらぎスペースをロビー側に移動して頂いてありがとうございます。やすらぎスペースの部屋にはDVD等を視聴できるモニターを導入することは可能か。気持ちを落ち着かせるために自前のタブレットを見たりすることもある。

事務局：現在のプランでは一時的に休憩する程度のスペースしか確保していない。

委員長：やすらぎスペース内の要望としてモニターを設置すること以外に、調光できる照明もあった方がよいのか。室内が暗い照明の方が落ち着けたりするのではないかな。

委員：調光できる照明が可能であれば、その方がよい。

委員長：ロビーに下駄箱が設置されているが、基本的に施設内は土足禁止になるのか。

事務局：その予定である。先進事例においても下駄箱を設置して土足厳禁としている。

委員長：下駄箱の数はどれくらいを想定しているのか。

- 事務局：現段階では他の先進事例の下駄箱の数と同等の100足程度の下駄箱を想定している。
- 委員長：飲食スペースに水場が設置されているがどうか。あれば便利かもしれないが清潔な状態を常に保とうと思うと維持管理が大変ではないか。逆にワークショップルームに工作体験など、絵の具等を使った際に用具を洗ったりする水場があった方がよいのではないか。
- 委員：飲食スペースとワークショップルームを行き来できるようにはならないのか。
- 事務局：構造壁を改修する必要があるため現段階では考えていない。
- 委員：利用勝手からいうと通り抜けできた方がよい。
- 事務局：新しく施設をつくるなら通り抜けできるような設計にするが、現時点ではコスト削減の観点から開口は設けていないが、コスト面を考慮し設計の段階で再検討する。
- 委員：飲食スペースに大きめのシンクまで入らないが手洗い場くらいは設置してほしい。
- 委員：飲食スペース以外での飲食は原則できないのか。ステージ側の見守りスペースに自販機を設置してコーヒーでも飲みながら子ども達を見守ることが出来た方が個人的にはよいと思う。
- 事務局：見守りスペースでドリンク程度であればよいのかもしれない。
- 委員：ロッカールームにコインロッカーと記載されているが、子ども達だけで来館することもあると思うが、手荷物をロッカーに入れてもらうイメージなのか。
- 事務局：貴重品など遊ぶときに邪魔になるようなものを入れておけるコインロッカーがあった方が安心して遊べるのではないかと考えている。
- 委員：コインを入れて鍵を開け、帰る際にはコインが戻ってくるようなロッカーと考えればよいのか。
- 事務局：現段階では、コインが戻ってくるものもあれば、戻ってこないコインロッカーの設置も考えられる。

○導入する遊具の検討について

- 委員長：事務局から説明があった通り、基本計画では導入する遊具についてはイメージの提案までとし、具体的には来年度の設計で詰めていく予定である。方向性の確認として何かご意見があればお願いしたい。
- 委員：2階のネットの端はどんなイメージになるのか。落ちないように工夫をされるのか。
- 事務局：側面についても落下防止のネットを張る予定でいる。同じような構造の先進事例もあるため問題はない。具体的な構造については設計段階で安全面を考慮した設計とする。
- 委員：フリーエリアや見守りスペースにも将来的にネーミングを付けてほしいと思う。資料にはネットベンチを設置する提案となっているが、どこに設置する予定なのか。
- 事務局：ネットベンチは、当初案の2階ギャラリーに設置するイメージである。
- 委員：フリーエリアを『星空エリア』と命名し、芝生に寝ころびながら費用も掛かるかもしれないがプラネタリウムを見ることが出来ればよいと思う。プラネタリウムが無理であればイメージとして『星空エリア』という愛称をつけて頂きたい。
- 委員：体育館の照明は現在の照明のままなのか。LED照明に替えるのであれば調光タイプの照明にしてはどうか。
- 事務局：調光タイプにすることは可能である。
- 委員：LEDの調光照明にできるのであれば、委員の提案であった『星空エリア』も実現できる

かもしれない。

委員：イベント等で使用する道具は何処に収納する予定なのか。現在の計画ではバックヤードとなる倉庫がないため倉庫を設置するスペースも確保してほしい。ワークショップルーム等でも様々な体験プログラムを開催するのであれば備品を収納するスペースも必要となってくる。

事務局：計画に反映させる。

委員長：ステージの下は収納スペースとして活用できないのか。

事務局：当初案はステージを改修するため無くなるがコスト削減案ではステージを有効活用するためステージ下を収納庫として活用することは可能である。

委員：2階のネットを全面張ることはできないのか。

事務局：コストが掛かることもあるが、全面にネットを張ってしまうと天井の高い体育館の開放感が生かせなくなる。

委員：2階全面にネットを張れないのであれば、ツリーテントのように天井から吊るしても面白いのではないかと。2階からの景色はいいと思う。

委員：遊具はとても楽しそうなイメージが伝わってくる。乳幼児の遊具エリアのフォトスポットを設置しているが、常設にせずにイベントとしてフォトスポットを設けた方がよいのではないかと。イベントの方が飽きが来ないと思う。

○バリアフリー・安全対策について

委員：子どもだけで来る場合の安全面の責任の所在はどこになるのか。施設に安全管理員が常駐するのか。

事務局：加賀の先進事例視察に行った際は、スタッフが3、4人常駐しており、遊具施設内を巡回していた。また、施設内の清掃をしながら子ども達を見守る体制がとられていた。長時間、誰も見に行かずに子ども達が遊んでいることはない。今後、施設の安全管理面も含め、指定管理者との契約を結ぶ際の条件等を詰めていきたいと考えている。

委員長：今後、設計を進める上で、バリアフリー施設についても検討することになると思うが、たまに何故こんな所に手摺りが必要なのだろうと疑問に思う場所に設置している施設を見かける。それだけは避けてほしい。

○駐車場等について

委員：駐車場の整備案は第1案がよいのではないかと。第2案の結楽座に大型車の駐車スペースを設ける案は、バスの切り替えし駐車が必要となり現実的ではない。土日は商工会議所東側の駐車場（30台程度）を提供することは可能である。

委員長：駐車場は最終的に事務局で決定するのか。

事務局：トータル的に事務局にて判断していく予定でいる。駐車場については、これまで観光交流課と協議をしてきた。バスは一旦駐車場に停めて、利用者に降りて頂き、亀山の散策、結楽座で買い物など最低1時間位は時間を要する。その間は別の場所でバスは待機することになっている。よって、バスが長時間駐車場に停車していることはない。散策や買物が終わる集合時間になるとバスが駐車場に迎えに来る運営を行っているという。バスの駐車スペースは5台程度で十分であるが土日はバスの出入りが頻繁となる。

委員：土日は結楽座と交流センターの駐車場ではどちらが駐車場利用率は高いのか。

事務局：まずは結楽座から駐車場が埋まっていく。結楽座の駐車場が満車になると交流センターの駐車場を利用する状況となっている。本施設が整備されれば、同時に駐車場が埋まっていく感じになるのではないか。

事務局：そうなる可能性は高い。

委員：冬場は利用者数も減ると思う。観光バスの利用も殆どないため大型車の駐車スペースは排雪場として使われることになると思う。

○管理運営に係る基本方針について

委員：施設は指定管理を考えているのか。

事務局：現段階では、指定管理による運営の方向で進めていきたいと考えている。

委員：指定管理で運営していくとなると使用料をとる形になるのか。

事務局：現段階では市内の子どもは無料としているが、整備費によっては少額ではあるが子ども達から料金を徴収することも考えられる。利用料金の徴収に関しては流動的であることをご理解頂きたい。

委員：近所の子ども達が2、3人で遊びに来ることは想定されていないのか。

事務局：当施設は西小学校の校区内であるため、校区内の子ども達だけで遊びに来ることは考えられる。

委員：平日の学校が終わった時間は、子どもの親もまだ仕事から帰ってきていない時間帯であるため、子ども達だけでも遊びに行くことが出来るように柔軟性をもった管理運営をして頂きたい。

委員：児童センターでは放課後や夏休みに入ると、預かっている児童達は自由に出入りができるのか。

委員：預かっている子ども達に関しては職員が同伴しないと外へは出られない。但し、自宅から自由来館する子ども達の出入りは自由である。

委員：預かっている子どもと、そうでない子ども同士と一緒に当施設に遊びに来ることはできないということか。

委員：預かっている子ども達は責任があるので、職員と一緒に同行する分には問題ないが、子ども達だけで出掛けることはできない。児童センターの子ども達が全員遊びに出掛けるなら問題ないが、残る子どもがいる場合は、職員がその分多く必要になるので難しい。

委員：未就学児が一人で遊びに来ることは問題だが、6歳以上であれば親の引率なしでも自由に入館できるなど、年齢に応じて制限を設けることも必要なのかもしれない。エンゼルランドは岐阜からの来訪者が多いと聞いている。大野の全天候型施設ができれば、中部縦貫道がつながることもあり、福井の玄関口としてエンゼルランドまで行かずに、中京圏から当施設に来る利用者も見込めるのではないかと考えている。県外からの利用者を見込めば、市内の利用者は無料とし、県外からの利用者に対して料金を徴収することも可能ではないか。

委員：それを実現するためにも観光施設の整備は重要である。

委員：本施設の整備を大野のまちづくりの一つのファクターとして捉え、皆で盛り上げていけるとよい。

- 委員：市内の子ども達を無料とする場合、どのように確認するのも考えておいた方がよい。
- 事務局：親と同伴で来た場合は免許証を提示してもらうなど必要となってくる。加賀の場合は、市内の子ども達に専用カードを配布し来館の際にカードを提示するシステムを導入している。
- 委員：子ども達は各自タブレットを持っていてIDがある。例えばそのIDで管理することもできるのではないか。
- 事務局：次回の第4回目が最後の委員会となる。今回は、これまでに皆さんと議論してきた内容、本日の委員会で出た意見を市役所内で揉んで、基本計画（案）の完成形に近いものを提示する予定ですので宜しくお願い致します。

8 閉会

次回

第4回委員会は、3月20日（月）午後1時30分～